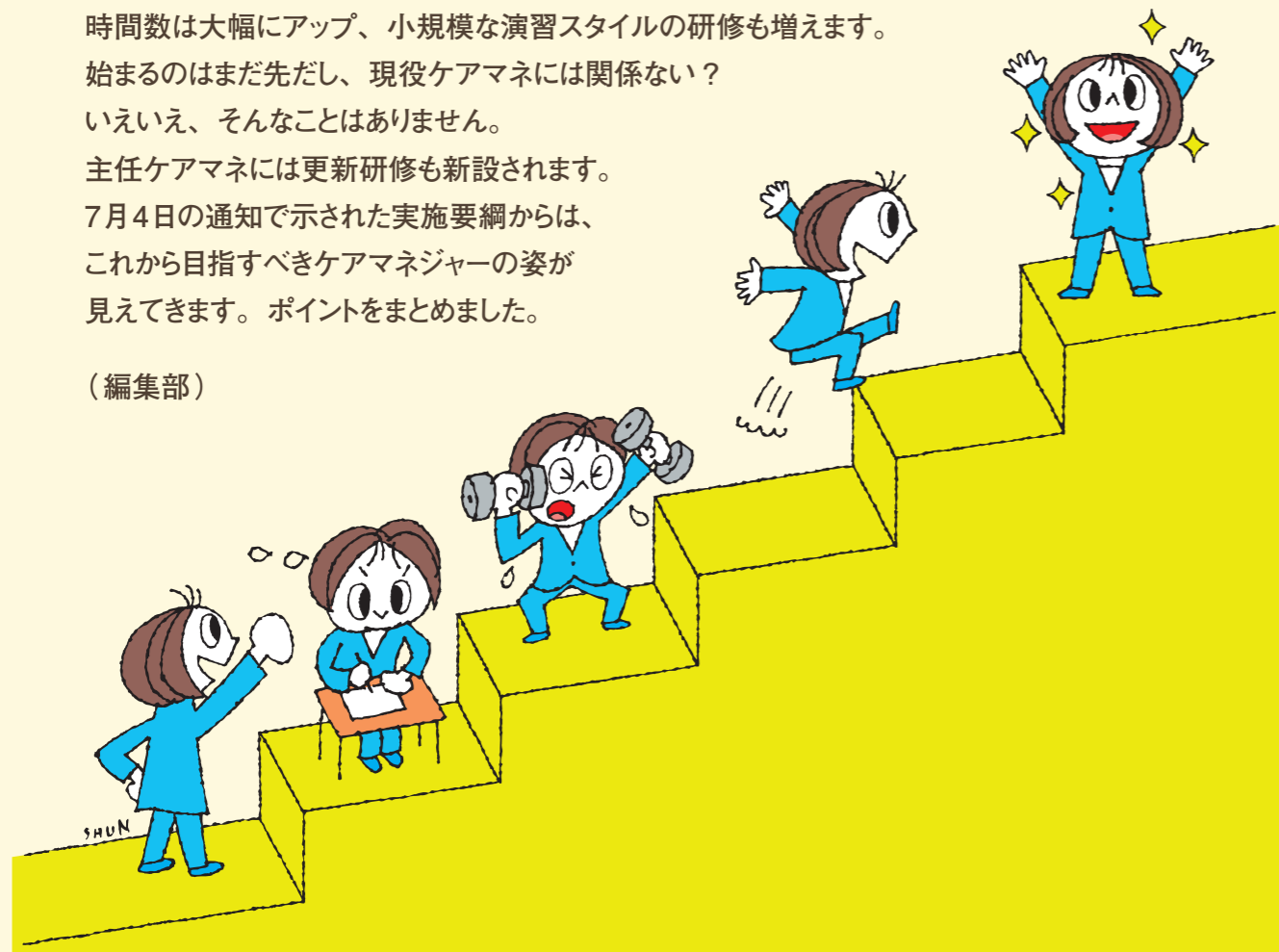


変わる ケアマネ研修



2016年から、ケアマネジャー研修の新カリキュラムがスタートします。時間数は大幅にアップ、小規模な演習スタイルの研修も増えます。始まるのはまだ先だし、現役ケアマネには関係ない？
いえいえ、そんなことはありません。
主任ケアマネには更新研修も新設されます。7月4日の通知で示された実施要綱からは、これから目指すべきケアマネジャーの姿が見えてきます。ポイントをまとめました。

(編集部)



法定研修を見直し 2016年度から

ここだけは押さえない！ 新研修から見るケアマネの役割

ケアマネジャーの法定研修が2016年度から大きく変わることはご存知でしたか？ 任意だった基礎研修は実務研修に統合され、試験合格後に受講する実務研修は今の2倍の時間数に。専門研修Ⅰ・Ⅱ（更新研修）もそれぞれ10時間以上増えます（図1）。今年、来年度は準備期間にあて、スタートは2016年度から。新しい実務研修と更新研修が適用されるのは、合格発表後の2016年12月以降となります。

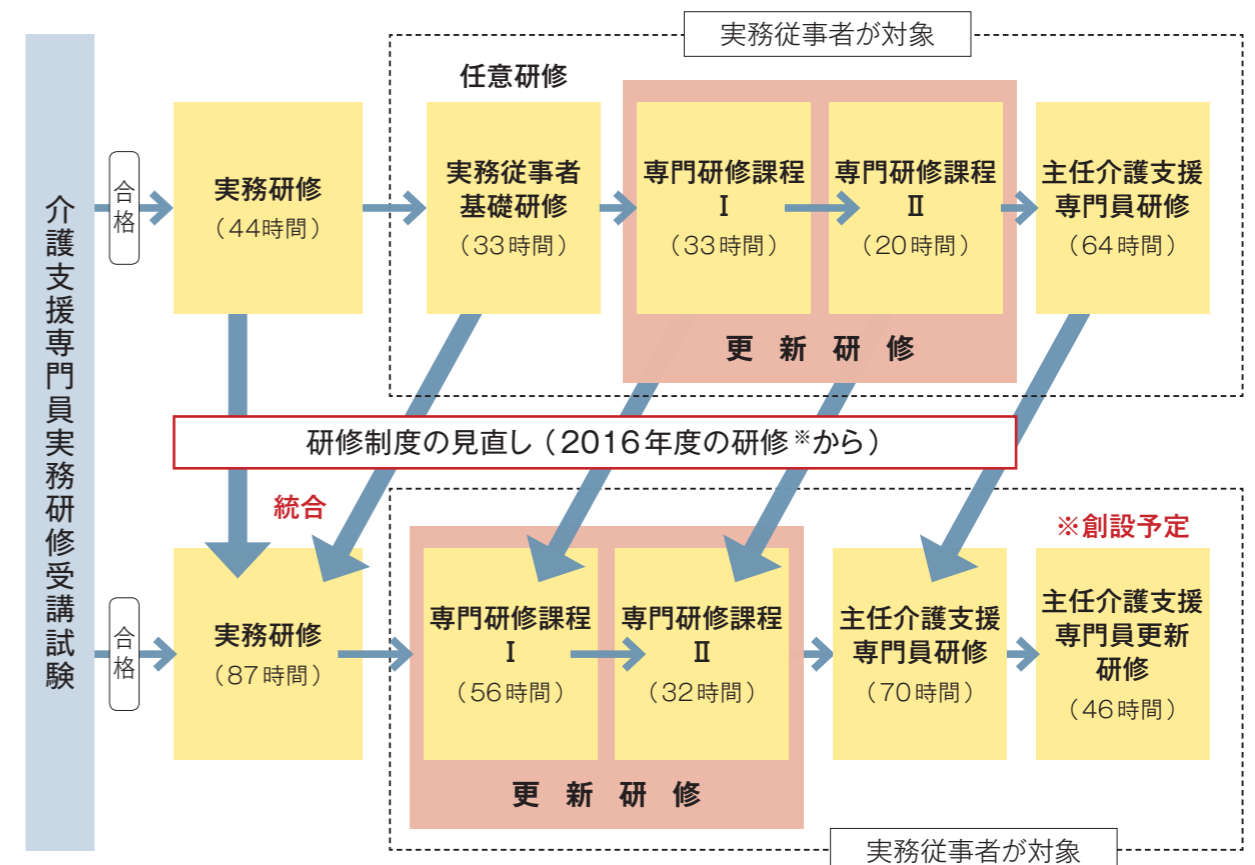
時間数が増えるので、負担が大きくなることは確実。これからケアマネを目指す人にとってはなおさらです。でも、すでに実務に就いていれば関係ない…？ なんてことはありません。なぜなら、運用や内容を具体的に示した実施要綱*1か

らは、これからのケアマネに求められる役割や能力を読み解くことができるからです。アセスメントが不十分、資質向上だと言われるけれど、じゃあ一体どういうケアマネになればいいの？ ということが見えてきます。

まず押さえておきたいのが、「多職種連携」です。医療や各種サービスの知識を身につけるだけではありません。多職種協働の「手法」や「合意形成」を学ぶことに力点が置かれているのがポイントです。例えば実務研修には、チームマネジメントに関する科目が追加。「他の職種を理解・尊重しながらチームを組織し、円滑に機能させるための手法を学ぶ」とされています。

*1 老発0704第2号「介護支援専門員品質向上事業の実施について」（2014年7月2日）

図1 ケアマネジャーの研修制度の見直し



※ 実務研修等は2016年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格発表の日から、専門研修等は2016年4月1日から施行。